

2022年9月13日

お客さま各位

高山信用金庫

e-dash 株式会社との業務提携を開始  
～脱炭素・カーボンニュートラルへの取組みを支援～

このたび高山信用金庫（本部：岐阜県高山市 理事長：坂口秀平）では、CO2 排出量可視化のクラウドサービス「e-dash」を提供する e-dash 株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役 山崎 冬馬、読み：イーダッシュ）と業務提携し、当金庫の取引先企業の脱炭素・カーボンニュートラルへの取組み支援を 2022年9月13日より開始します。

2050年カーボンニュートラルに向けた動きが本格化している昨今、あらゆる企業にとってCO2排出量の情報開示や削減が経営上の重要テーマのひとつとなっています。一方で、「どこから始めたらよいのか」と悩む企業や、取り組むにあたっての実務負担やコストに課題を感じている企業が依然多くいます。本提携を通じ、当金庫は取引先企業へ「e-dash」を紹介し、脱炭素への取組みの初めの一歩としてCO2排出量の可視化を支援してまいります。また、その先の排出量の削減に向けた施策の実行支援も含めて中長期的にお客様と伴走することで、脱炭素社会の実現をともに目指していきます。

#### 1. CO2 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」とは

「e-dash」は、CO2 排出量削減への取組みを総合的にサポートする三井物産発のサービスプラットフォームです（※1）。

脱炭素の第一歩であるCO2排出量の可視化については、電気やガス等のエネルギーの請求書をアップロードするだけで、事業を通じたCO2排出量（Scope 1・2）を自動で簡単に算出するなど、計算の手間を削減しながら正確なデータを蓄積できる仕組みを提供しています。サプライチェーン排出量（Scope 3）についても、ソフトウェア上で手軽に算出・可視化が可能です。

「e-dash」でのCO2排出量の算出については、大手監査法人による第三者検証を実施し、日本政府が策定した算定ガイドラインに基づいた正確な算定方法でご提供しています（※2）。

さらに、CO2排出量の可視化に留まらず、三井物産のネットワークも活用しながら、CO2排出量削減の各種施策の実行を支援します。



※1：三井物産、CO2 排出量可視化・削減クラウドサービスを提供する「e-dash 株式会社」を設立（2022 年 3 月 1 日）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000095916.html>

※2：国内初、大手監査法人による CO2 排出量可視化サービスの第三者検証を実施（2022 年 6 月 30 日）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000012.000095916.html>

## 2. e-dash 株式会社 会社概要

設立：2022 年 2 月 7 日（三井物産 100%子会社）

URL：<https://e-dash.io/>

所在地：〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-2-1

事業内容：CO2 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」の開発・運営

<お問い合わせ先>

高山信用金庫 営業統括部 営業推進課 TEL：0577-32-2201